

議案に対する質疑

「議案に対する質疑」とは、議会に上程された議案について質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするために、議案の提出者に対し、説明や考えを求めるものです。今期定例会においては、七人の議員によって議案に対する質疑が行われました。

齋藤 隆議員

議案第五十三号 平成十六年度羽生市一般会計歳入歳出決算

(質問) ・不納欠損の内容と自己評価について

(答弁) ・不納欠損となるものは、五年が経過し、時効が成立したものの、滞納処分執行を停止し、三年が経過したものの、法人が倒産し、徴収困難になったものの三種類に分けられる。十六年度は、収税対策プロジェクトによる重点的な取り組みで、着実に成果をおさめていると考えている。

藤倉宗義議員

議案第五十四号 羽生市国民

健康保険特別会計歳入歳出決算

(質問) ・国民健康保険の医療費を下げるための改善策について

(答弁) ・市民の健康維持、予防意識の向上を目的に、健康運動、健康教室、食生活改善事業、健康相談などの保健事業を行っているが、これらの事業をさらに充実させ、医療費の減少につながるよう、一層の取り組みを進めていきたい。その他の質疑

落合信夫議員

議案第五十三号 平成十六年度羽生市一般会計歳入歳出決算

(質問) ・三位一体の改革が決算に与

えた影響について伺いたい。

(答弁) ・国庫補助負担金の減額に伴う所得譲与税は、ほぼ見込みどおりであるが、地方交付税は、前年度と比較して四億七百万円、臨時財政対策債は、三億九百万円とそれぞれ減額になっており、本市の財政運営に大きな影響を与えているといえる。

その他の質疑

・議案第六十三号、六十六号、七十号、七十二号、八十五号

松本敏夫議員

議案第七十七号 財産の取得

(質問) ・災害対応特殊水槽付消防ポンプ車とは、どのような機能を備えているのか。

(答弁)

・「特殊水槽付」とは、消防車両本体に水を積載することにより、消火栓や防火水槽などが火災現場から離れている場合でも、その積載した水を利用して、すぐに消火活動ができる機能である。また、地震などの被災地へ

の出動要請に対応するために四輪駆動車であることなどの機能を有する消防車である。

永沼正人議員

議案第六十七号 羽生市産業文化ホール条例の一部を改正する条例

(質問)

・会議室が、ホールと一体でなければ利用できないという改正になっているが、理由は、

(答弁)

・過去五年間の会議室利用実績が、一件であったこと。市民プラザ、ワークヒルズなどの整備により、会議室の充実が図られてきたことなどの理由により、文化ホールの会議室は、ホールに付随するものと位置付け利用制限した。その他の質疑

・議案第六十六号、六十九号

小野幸夫議員

議案第七十八号 財産の取得について(一)

(質問)

・給食センターで使用する食器洗浄機の仕様を伺いたい。

(答弁)

・平成二年に設置した従来の食器洗浄機が老朽化により、スムーズな洗浄が困難になったために購入するものである。仕様は、長さ十・八m、幅一・八三m、高さ二・四六m、処理能力は、六千食分の食器を洗浄する能力がある。その他の質疑

・議案第七十七号

蜂須直巳議員

議案第六十六号 羽生市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例

(質問)

・公共施設に指定管理者制度を導入することにより、市民サービスの低下が懸念される。市の考え方を伺いたい。

(答弁)

・今後、委託内容や指定団体の選定等の作業に入るが、公の施設の目的を最も効果的に達成できると認められた団体を指定することにより、市の公的責任を果たしていきたい。その他の質疑

・議案第六十七号、六十九号、七十六号